



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その75

福井県勝山市にある「福井県立恐竜博物館」です。黒川紀章の設計により2000年に完成しました。エントランスは丘の上であり、そこから、一気にエスカレーターで最下層まで導かれ、外観で特徴的な、巨大な銀色の「卵」の内部へ至ります。写真は下降していく空間です。学術資料だけではなく動く恐竜の仕掛けなど、空間と展示の両方を楽しめる博物館だと思います。

CURRENTLY WORKS



大学内施設の改修 … イメージを引き継ぐ

大学生協の書籍店の改修計画です。写真のカウンター自体は、新設時にデザイン制作したのですが、レイアウト変更に合わせて、一部を撤去し新規製作の部分を嵌め込んでいます。以前とは構え方が変わりましたが全体のイメージは変えていません。自分たちでデザインした物件の改修計画でしたので、コンセプトを守って計画でき、大変嬉しい仕事でした。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その16

三河湾に面した蒲郡市三谷町の金剛寺に立つ「子安弘法大師尊像」です。昭和9年に立てられました。コンクリート造で、高さは、空海が62歳で没したことに因み、62尺(約18.7m)です。子供を抱きすくっと立っていますが、この子供の背丈でも5mあります。かつて山麓で難産に苦しむ女性を大師が安産に導いたという事で、子宝や安産にご利益があります。

EDITORIAL NOTE

10月31日は「ハロウィン」です。日本では、1997年にディズニーランドが取り入れて広まりました。11月1日を「万聖節 (Hallowmas)」と言い、その前日が「Hallow E'en」… このE'enはEveningの略で「クリスマスイブ」と同様です。南瓜をくり抜いた提灯は先祖への目印ですから、お盆と同じですね!

編集担当：太田・藤原、監修：岡島